

2026 年度 AO 選抜入学試験
デザイン・アート学部「総合評価方式(ポートフォリオ型)」
選考内容と評価のポイント

1. 入学試験の特徴

取り組んだ活動のコンセプトやプロセス、自身の役割などを「ポートフォリオ」※を通じて表現していただきます。「ポートフォリオ」を含むエントリーシートの内容と面接での質疑応答を通じてアドミッション・ポリシーに適合する人材かどうかを判断します。

※ポートフォリオとは、デザイン、アートなどの制作活動や作品のみならず、探究学習や部活動、自主的な活動を含めた幅広い活動の実績について資料をまとめ、表現されたものを指します。

2. 選考内容・評価のポイント

(1) 選考内容

第1次選考:「書類選考(「エントリーシート」「調査書」等)」、「ポートフォリオ」の総合評価

第2次選考:「面接」

(2) 評価のポイント

① エントリーシート

- ・志望動機、入学後の学習計画や将来ビジョンについては、この学部で学びたい理由や動機が具体的に明確であることを確認します。
- ・デザイン・アート学部のカリキュラム構成等について正しく理解しているか、また学部での学びを自身の目標達成にどう活用し、生かしていくかを具体的に明示できているかを評価します。

② ポートフォリオ

- ・美術・デザインに限らず、探究学習、地域活動、さらに日常的な社会活動も含め、学校内外の多様な経験を創作や構想という観点から捉え直し、ポートフォリオにまとめてもかまいません。
- ・ポートフォリオは、活動の動機・プロセス・成果・課題・学び・今後への展望を記述し、単なる「記録」にとどまらず、アイデアや計画をより高いレベルに引き上げ、具体的な価値や意義を提示できているかを重視します。
- ・作品や活動と制作・活動プロセスが、その動機となった問いや関心と一貫したものになっているかを重視します。

③ 面接

- ・洗練された言葉や形式よりも、自身の言葉や心からの表現を尊重します
- ・面接での「ポートフォリオ」に関する質疑応答では、断片的な活動や経験の積み重ねだけではなく、自身の問いや関心、課題意識にもとづいた「自分のビジョン」に沿った構成になっているか等を確認します。
- ・また、「ポートフォリオ」でまとめた作品や実績を踏まえて、「自分はこれからどのようなしていきたいのか」という将来のビジョンが明確に答えられるかも重視します。

以上

2026 年度 AO 選抜入学試験
デザイン・アート学部「総合評価方式(視覚表現型 1 期 / 2 期)」
選考内容と評価のポイント

1. 入学試験の特徴

構想力を重視の総合型選抜と位置づけており、面接時に「視覚表現」※を持参していただきます。エントリーシート等の出願書類の内容と、当日持参する視覚表現に関する質疑応答を含めた面接を通じて、アドミッション・ポリシーに適合する人材かどうかを判断します。

※視覚表現とは、スケッチ、イラスト、写真、図、表など(いずれも表現手段は、アナログ、デジタルを問わない)の視覚に訴える表現をさします。

2. 選考内容・評価のポイント

(1) 選考内容

「書類選考(エントリーシート、調査書等)」、「視覚表現」、「面接」による総合評価

(2) 評価のポイント

① エントリーシート

- ・高校 3 年間で取り組んだ活動については、活動のプロセスや他者との活動における成果、また、成果に対するの自己評価、他者との協働における自身の役割や協働に成果の分析が行われているかを評価します。
- ・志望動機、入学後の学習計画や将来ビジョンについては、この学部で学びたい理由や動機が具体的で明確であるかを確認します。
- ・デザイン・アート学部のカリキュラム構成等について正しく理解しているか、また学部での学びを自身の目標達成にどう活用し、生かしていくかを具体的に明示できているかを評価します。

② 視覚表現

- ・テーマに対して「問い直す視点」を持ち、自分の視点で意味を問い直し、一般的・通俗的な応答ではなく、自分だけの違和感や問いを起点に、独創的な表現や構想になっているかを評価します。
- ・「視覚表現」は、完成度よりも「なぜこのように表現したのか」という思考プロセスを重視します。

③ 面接

- ・洗練された言葉や形式よりも、志願者自身の言葉や心からの表現を尊重します
- ・批判的な思考を持ちつつ、面接官とも対話的な質疑応答ができるよう努めてください。

以上